

▼瀬戸内児島ホテルより



▼堀川めぐり



▼ルイス・C・ティファニー庭園美術館



▲野崎家旧宅

■ 旅程表 ■

4/16(日)

京都——岡山——(高速利用)——せとうち児島ホテル
(昼食：下津井名産蛸料理)
 ——野崎家の旧宅——水島IC——(高梁SA)——
 ——米子IC——玉造温泉『佳翠苑 皆美』

4/17(月)

【ゴルフ組】 名門「大山ゴルフクラブ」でのゴルフプレイ
 ホテル——大山ゴルフクラブ——岡山——京都
(8:00スタート)

【観光組】

ホテル——堀川めぐり——ルイス・C・ティファニー庭園美術館
 ——味皆美ふじな亭——新鮮蔵——(高梁SA)
(鯛めしの昼食) (ショッピング)
 ——岡山——京都



▲穴道湖の夕日

▼宴会開始



▲スリッパリレー

『子供の遊び場』

東山支所 長谷川幸友子



東山区、馬町の奥に子供が通っている保育園があります。園庭はそんなに広くはないのですが、道路から少し奥まったところにあって裏に山が迫っているため、静かで緑がいっぱいです。これからの季節、子供たちは一日中園庭を転げ回って遊んでいます。遊具はもちろんのこと、走り回ったり、虫を観察したり、泥団子作りにいそしんだり…。多少？地面がぬれていようがおかまいなしです。



お迎えに行くと、泥まみれの手を差し出されたら、思わず「来ないでっ！」と叫んでしまいますし、汚れ物の袋を覗いて泥だらけの



服を発見したら、正直げんなりします（泥汚れは洗ってもなかなか落ちないんです）。夏から秋にかけては蚊がすごくて、手も足もいっぱい刺されて

てしまいます。一方で、毎日土にまみれて遊べるのは、いまどき貴重な体験なのかなと思ったりします。

町中にも公園はいろいろありますが、きちんと管理された、小さい子供を安心して遊ばせられる砂場は少ないようです。現に、幼稚園児の甥っ子は、ずっとお砂場遊びをしたことがなかったため、海に行っても足に砂がつくのが気持ち悪くて浜辺を歩けなかったそうです。学校も土のグラウンドが少なくなってきました。

安全面・衛生面を考えれば、人工芝や舗装された園庭が望ましいのかもしれませんが、これからは自然のままの園庭であってほしいと思います。



私の残したい風景

『祇園白川の桜』

東山支所 垣木 英宏



春（特に3月）は確定申告等で忙しく、最近では花粉症にも悩まされますので、あまり好きな季節であるとはいえません。しかし、確定申告も無事終わり、寒かった京都の気温も徐々に暖かくなって桜の花が咲き



始めるのを見ると、ホッと心が和みます。

京都には桜の名所が数々ありますが、祇園白川の桜もその一つであると思います。縄手通の大和橋

から辰巳橋まで続く白川沿いの桜並木は、川と橋と石畳に囲まれ、短い区間ながら、情緒ある雰囲気を出しています。その白川南通の北側には、ひっそりとした佇まいの新橋通の石畳があり、その新橋通と白川南通が交わる地点に辰巳大明神があります。辰巳さんと呼ばれて親しまれているこの神様は、芸事の上達祈願に舞妓さんや芸妓さんが参拝することで有名ですが、そのすぐ横にも立派な桜が咲いていて、満開時には本

当に華やかになります。

新渡戸稲造は、著書『武士道』の中で「サクラは、その美しい粧いの下にとげや毒を隠してはいない。自然のおもむくままにいつでもその生命を棄てる用意がある。その色合いは決して華美とはいいがたく、その淡い香りには飽きることがない」とし、日本人が古来より愛した花であり日本人の国民性の象徴である桜と、武士道における「大和魂」との関連性について述べています。現代人にどれだけ「大和魂」が残っているか分かりませんが、桜が咲く短い期間に大勢の人々がわざわざ遠方から足を運んでお花見をしている姿を見ると、日本人は本当に桜の花が好きなんだなと思います。



私は東山で開業して2年目の春を迎えましたが、近所でありながら今年になって初めて祇園白川の桜をゆっ



くりと堪能いたしました。壮大なスケールはないものの、京都らしい祇園の町並みの中で情緒あるこの風景は、いつまでも残して欲しいものだと思います。



右京支所 田中英文

『長岡京市』

私の住む「長岡京市」は、京都と大阪の二大都市を結ぶ軸の中心に位置し、北は向日市と京都市、南は、大山崎町に接しています。中央を阪急電鉄、JR京都線、新幹線が走り、また

名神高速道路と国道171号線、さらには大山崎ICも近くにあり非常に交通の便に恵まれています。

そのため広さわずか19km²に村田製作所、サントリー、ナショナル、三菱電機などといった上場企業の本社、工場などが10社程度もあり交通の便の良さを現しております。



長岡天満宮



サントリービール工場

反面、『長岡京』は今から1200余年前の784年、桓武天皇の命によって奈良の平城京から遷された都でした。わずか10年程でしたので日本史にその名を長



くとどめることはありませんでしたが、平安京の基礎をつくったと言われており、歴史的な町でもあります。

また最近では、観光地としても人気があり、桜と霧島つつじの長岡天満宮、ぼたんの乙訓寺、もみじの光明寺、あじさいの楊谷寺、など是有名で観光スポットとしてハイキングコースに入られています。

コースとしては3km~12kmで4、5コースの設定があり、熟年者の方には非常に人気があり多くの方が来られます。またハイキングの終わりにビール工場に立ち寄り見学させても

らった後、生ビール(無料)をグイッと、というのも楽しみの一つだそうです。

ぜひ一度、花の咲く観光シーズンに訪ねてみて下さい。



乙訓寺



舞鶴支所 岸本 聡

『舞鶴市』

舞鶴には、海上自衛隊や第八管区海上保安本部などがあり、国の重要な役割を果たしていることは、よく知られていますので、今回は最近の新しい施設等を、御紹介します。

五老岳から見た舞鶴湾は「近畿百景」の第一位に選ばれ、複雑に入り組んだ海岸線が美しいです。湾内には定期船や遊覧船が行き交い、夏にはキャンプ場としてにぎわう京都府青少年の島「戸島」をはじめとした小島が点在しており、魅力的な風景が広がっています。

石炭を利用した火力発電所が平成16年8月から運転を開始しました。これを機に舞鶴親海公園に、船体型のPR館「エル・マールまいづる」がオープンし、国内初となる海上プラネタリウムをはじめ、舞鶴の歴史や自然を紹介した舞鶴

体験館があります。又、豪華客船の談話室を模した部屋を設けた船の体験館などもあります。長さ120m巾6mの海釣り護岸と称する岸壁が



舞鶴親海公園

あり、家族連れの遊び場として最適です。

海のことが続きますが、もう一つ忘れられないものに北海道の小樽とのフェリー就航をあげなければなりません。まるで大きな豪華ホテルが波も立てず、ゆっくりと入港して接岸し、夕景のイルミネーションが水面に映える様は実に美しく、一度は見たいものです。



田辺城城門

歴史としては、戦国時代末期の天正8年、

丹後の国は細川藤孝(幽斎)、忠興親子の領国となります。細川氏は伊佐津川と高野川に囲まれた平野部に田辺城を築きました。以後290年間領内統治の中心でしたが、明治6年廃城され、現在は舞鶴公園として桜の名所として市民の憩いの場となっています。又、春夏秋冬を通じその絶景で人々の目を楽しませる金剛院は、高岳親王によって平安時代初頭に開かれ、白河天皇が中興したと伝えられ重要文化財の三重の塔をはじめ、多くの文化財を収蔵しています。



自衛隊棧橋



シリーズ第二回目は、委員長の仰せで宇治田原町に行く事にしました。宇治田原町の地図で国道から入り込んだ「湯屋谷」に行く事にしましたが、果たして其処には何かあるのでしょうか？私は何かに出会えるのでしょうか？

宇治田原町は、昭和31年に田原村と宇治田原村が合併して出来た町です。宇治市、城陽市、井手町、和束町に隣接し、滋賀県との県境にあたり、北西部の大峰山を中心とする山地と、南部の鷲峰山（じゅぶさん）から広がる標高200m～300mの丘陵部と、河川沿いの平地部からなり、そこに多くの谷が組み合わさって、陰影の富んだ地形を作り出しています。

京阪宇治交通バスで、JR宇治駅から宇治田原方面には「維中前行き」と「宇治田原工業団地前行き」がありました。「維中前行き」に乗る事にしました。

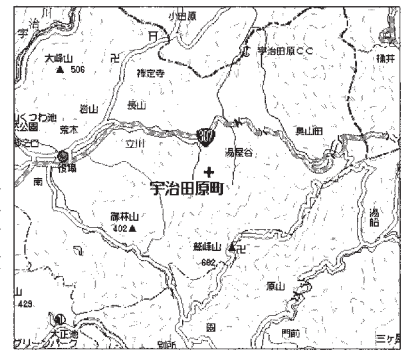
宇治から太陽が丘公園を過ぎて、道は山あり谷ありで沢山のダンプカーとすれ違いバスはかなり揺れます。「くつわ池自然公園」を過ぎて、国道307号線に出ますと、製茶場の看板が沢山目に入ります。今更ながらに宇治田原町は「お茶」の有名な所なのだと実感します。終点の「維中前」は「宇治田原町立維孝館中学校」の事で、この近くには、田原川沿いの「やすらぎの道」



が桜並木で咲き誇っています。その近辺を散策中の人に「湯屋谷」へのバスを聞きましたら「湯屋谷」へのバスは6年程前に廃止されたとの返事です。そんな事を聞けば余計に「湯屋谷」に行きたいと言う思いが湧いてくるから不思議です。其処に何かがあるのかも分からないのに…。

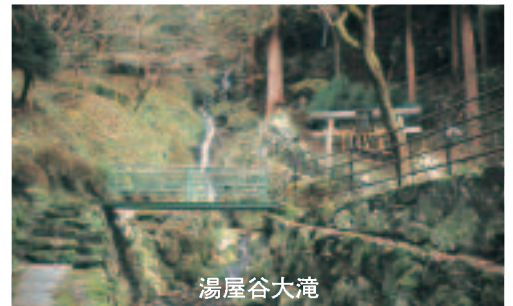
住民体育館あたりから総合文化センターの辺りを歩いてみましたが、これと言う心惹かれるものには出会えなく…バス停まで引き返してみますと、なんと其処に「湯屋谷」に行く「コミュニティバス」が停まっているではありませんか…でも、路線バスではなさそうです。運転手さんに尋ねてみますと、地区が運営しているバスで、人数に空きがあれば地区の人でなくても乗っても良いと聞き、厚かましくも乗せてもらうこと

にしました。無料でした。「湯屋谷」まで10分ほどの時間です。10人ほど乗れるマイクロバスに2人です。朝晩は中学校に通う生徒さんも乗るので、満員だそうです…。「湯屋谷」



で降りて、其処からすこし歩き、道が分かれるところで左「茶宗明神社」右「湯屋谷大滝」の看板を見つけました。まずその看板に従って右の方の湯屋谷の集落に行くことにしました。道は狭く集落を通り過ぎて真っ直ぐな坂道を20分ほど歩くと、周りには杉とヒノキが植林され、小さな小川が流れて、車一台がどうにか通れるような細い道です。車輪の跡らしき間には、うっすらと苔が生えています。この間に誰にも出会いませんでした。

その終点に「大滝」はありました。都会では味わえないような清々しいマイナス



イオン一杯の空気です。この「大滝」は宇治田原町の指定文化財で毎年9月1日に五穀豊穰と雨乞いの祭事である大滝祭りが行われます。携帯電話は圏外になっていました。元の分かれ道まで戻り「茶宗明神社」に向かいます。コンビニも自動販売機もないくねくねした細い道を15分、こちらにも横には小川が流れて家々はあるのに人影さえも見えない静かな集落です。其処の終点に「茶宗明神社」がありました。

鎌倉時代に栄西禅師が中国から茶を持ち帰り、民衆に広めたお茶は赤黒い粗末なもので、これに抹茶の製法を取り入れ、緑色をした煎茶（緑茶）の製造法を考案したのが湯屋谷の茶農永谷宗円翁です。15年かけて編み出した製法を近在の農民に伝授した事から緑茶が広まり、これが日本緑茶発祥の所以です。宗円翁はその業績を讃えられ、茶祖として「茶宗明神社」に祀られています。すぐ横に宗円翁の「生家」がありました。



「湯屋谷」で私は「日本緑茶発祥の地」と、豊かな自然に恵まれた、どこか懐かしい日本の原風景に出会いました。

理事会報告

◆第6回理事会

平成17年度第6回理事会を3月24日午後3時より開催致しました。

当日の出席状況は次のとおりでした。

理事43名 監事3名 相談役1名

【決議事項】

第1号議案 組合加入並びに賛助会員加入承認の件

次の個人加入6名・法人1社、賛助会員4名が承認されました。なお、組合員数は個人組合員1,289名、出資金額12,603万円、法人組合員28社、出資金額280万円となりました。賛助会員は91名となりました。(申込順・敬称略)

(個人組合員)

- ・井木悦夫 ・谷峯寛規 ・川勝高博 ・高谷 真
- ・山形能郎 ・長谷川孝利

(法人組合員)

- ・税理士法人 アチーブメント

(賛助会員)

- ・田中久代 ・佐藤正行 ・内山正元 ・平田治雄

以上、第1号議案が承認可決されました。

【審議並びに報告事項】

1. 財務報告の件

二股財務委員長より2月末日までの9ヵ月間の財務報告がありました。特に問題もなく全員了承しました。

2. 各部門報告(主要事項)

① 当面の組合行事日程について……6月14日(水)→予算編成準備会・6月21日(水)→理事会(予算)・7月3日(月)→予備監査・7月6日(木)理事会・7月7日(金)期末監査7月13日(木)相談役会、以上報告がありました。

② 「組合員名簿」作成及び発行について……毎年10月発行していた組合員名簿が、個人情報保護法の施行により発行が遅れていたが、3月27日付で発行することになった旨説明がありました。

③ 「相談役会」の開催等について……相談役会を年3回とし、

理事会出欠に関しても、連絡いただければ席を準備する方法で進めていきたい旨説明がありました。

④ 2/6監査報告(中間)について……特に問題もなく無事に終了した旨報告がありました。

⑤ 組合事務システム化の導入について……事務局の日常業務で、手作業並びに重複作業が多く共有化できる情報をデータベースにて管理化することにより業務の効率化を図ることとなりました。5月中には完成する予定である旨説明がありました。

⑥ 全税共文化財団助成決定について……申請3団体中1団体が助成金を受けることになった旨報告がありました。

(団体名:テアトル・ノウ 紹介者:北條達人先生)

⑦ 教育情報資料の配付について……今年も例年どおり「税務ハンドブック」を配付する予定である旨報告がありました。

⑧ 京都税経学院の各講座状況について……今後の講座について、まだ人数が少ないため是非、ご参加いただきたい旨要望がありました。

⑨ 簡易保険団体払込制度について……簡易保険の団体払込制度の継続について、規約・細則を作成し色々協議検討を行ったが、協同組合は、払込団体の母体団体と認められないため、脱退せざるを得ないことになり4月で取り止める事となった旨説明がありました。

⑩ 京税協共済年金制度の閉鎖について……団体の加入者数が最低人数より下回っているため、5月末をもって閉鎖する旨報告がありました。

⑪ 大同生命保有契約還元金について……今年も5月上旬に還元金を支払う予定である旨説明がありました。

⑫ 税務便覧制作委員会構成員(委員の交代)について……内規による任期満了に伴う委員の交代について、次期候補者4名が常務理事会で決議されたのを受け、委嘱する旨の報告がありました。(順不同・敬称略)

・藤原智子 ・長谷川孝利 ・岡本博之 ・武田美都子

⑬ 第37回チャリティーゴルフコンペ及び平成17年度一泊旅行の申込みについて……4月5日に旅行・ゴルフ世話人会を開催する予定であり、また、ゴルフ・一泊旅行の申込人数が少ないため、是非ご参加いただきたいと要請がありました。

京都税理士協同組合

第34回通常総会

平成18年7月28日(金)
京都ホテルオークラ
京都市中京区河原町御池

講演会	14:00~15:30
総会	15:40~17:30
懇親会	18:00~20:00

税理士協同組合の報酬自動支払制度



ご利用前…

- 自動振替は便利だが、
 - ・訪問回数が増え関与先が心配するのでは…
 - ・関与先からの抵抗があるのでは…
 - ・値下げのきっかけになってしまうかも…
- といった懸念を少しもっていたが、

ご利用後…

心配は全くありませんでした!
世の中、口振による料金支払いは当たり前。
今では、すべての関与先に拡大しています!

No.1
の実績

いま最も多く利用されている
税理士報酬専門の自動集金システムです。

全国12,650の税理士事務所でご利用中! (平成18年1月現在)

税理士協同組合事務代行社 お申込み、お問い合わせは、こちらまで。
株式会社 日税ビジネスサービス ☎0120-155-551
〒163-1588 東京都新宿区西新宿1-6-1新宿エルタワー29階 URL http://www.nichizei.com/nbs/hs/